

3次元モデルの読み込み方法



①自身のスマートフォンのカメラアプリで、チラシまたは復元倉庫前の案内表示にある二次元コードを読み込みます。

②画面下部に出る「STYLY」のボタン（左写真の点線赤○）をタップ（STYLYへアクセスします）。

※接続には通信料が生じます。

※アプリの利用自体は無料です。

③STYLY アプリをインストールしていない場合は、インストールを促す画面が表示されるので、使用しているスマートフォンの OS に適したアプリ提供サイト（AppStore または GooglePlay）からインストール。

★すでにインストールされている場合はアプリが起動しますので、下記⑤の手順へ進んでください。

④インストール完了後アプリが起動します。

⑤アプリを起動させたまま、チラシ裏面マップの「開始位置」へ移動します。

⑥「床面を検知してください」のメッセージ（左写真の表示）に従ってスマートフォンを動かします。



⑦検知直後に「タップでスタート」の指示が出るので、現地開始位置（看板）の下あたりを狙って、タップ。

★タップする際、スマートフォンは左右水平にし、傾きは 30 度から 40 度を目安にしてください。

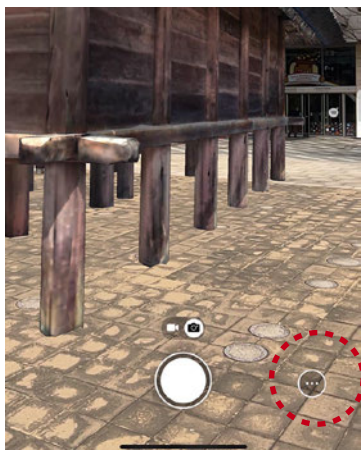




⑧スマートフォンを起こすと、現地の遺構表示タイルに近い位置で3次元モデルが表示されます。

※3次元モデルが現地遺構表示タイルと大きくずれている場合は読み込み位置が正しく設定できていないことが考えられます。この場合は、いったんシーンを終了させ、再度開始位置での読み込みを行ってみてください（本ガイド「終了方法」参照）。

終了方法



①画面右下にある「…」マーク（左写真赤○内）をタップ。



②画面右上に出てくる「シーン終了」をタップ。



③確認画面が出るので「はい」をタップ。

360 度画像表示に切り替える



利用中、AR 空間内に浮かぶ球体（左写真赤○内）をタップすると、、、



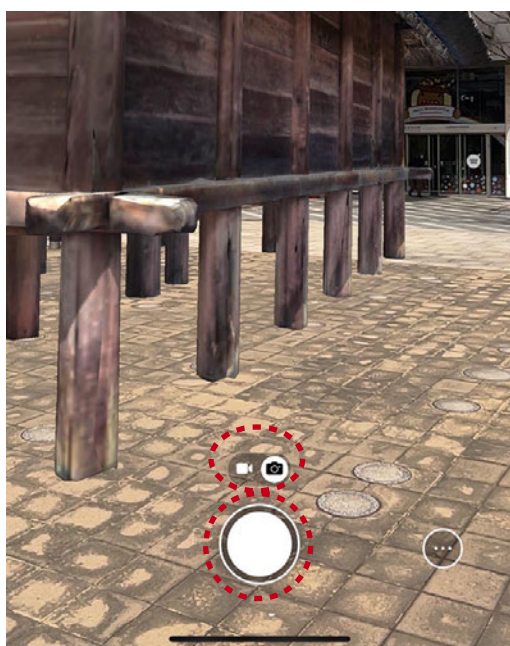
3次元モデルを使って作成した雰囲気のあるシーンに切り替わります（360度画像の表示）。

★球体の位置はチラシまたは現地の案内掲示にある配置図をご参照ください。

＊配置図は AR 空間内（開始位置近辺）にもあります。→本ガイド 4 ページを参照。

★通常の AR 表示に戻すときは、画面の上部に出ている「×」をタップ。

スクリーンショットを撮る



画面下部に表示されている白い○がシャッターボタンなので、気に入った場所で撮影してください。

★動画と静止画を切り替えられます（シャッターボタン上部に出ているアイコン）。

3次元モデル内部の様子をみる



画面に表示されている3次元モデルに向かって歩いていき、そのまま倉庫内部へと突入してください。

倉庫の内部も再現されているので、そのまま内部を見ていただけます（左写真はその様子）。

★標準的な視線の高さにあわせて3次元モデルを配置しています。

★より精細な内観をご覧になりたい場合は、《VR復元倉庫》をご利用ください（ただし、VRゴーグルまたはパソコンの使用を推奨）。

AR空間内の解説看板



倉庫の復元に関する情報

AR空間内の配置図

3次元モデルが読み込まれると、開始位置近辺に、

- ・倉庫の復元に関する情報
- ・AR空間内の配置図

もあわせて表示されます。必要に応じてご参照ください。